

コロナ禍で気付いたこと【中学校】

- 1 主題名** 自分の役割は何か **内容項目** C よりよい学校生活、集団生活の充実
- 2 ねらい** 自分の役割について、様々な立場から多面的・多角的に考える活動を通して、集団の中での自分の役割や責任について考え、日常生活に生かそうとする実践意欲を育てる。
- 3 展開例**

	学習活動と主な発問	指導上の留意点
導 入	1 新型コロナウイルスについて、知っていることを発表する。	・新型コロナウイルスによって、人々の生活が制限されたり、困難に直面したりした人があることを知る。
展 開	2 学習課題を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 社会という集団の中で、どんな思いを大切に生活していきたいか？ </div> 3 教材「コロナ禍で気付いたこと」を聞き、話し合う。 (1)カナコやケンタは、自分の立場でできることについて、どんなことを考えているだろうか。 (2)それぞれの立場の人の考えを通して、あなたはどうか。 (3)日々の生活で大切にしていきたい思いは何か。 4 本時の学びを通して、振り返る。	・学習課題は、導入を踏まえ、生徒の問題意識を活用して作成する。 ・家族やクラブチームの一員として、自分の役割について模索する気持ちに共感させるとともに、どのような責任を果たせるかについて、考えさせる。 ・資料ページにある、様々な立場の人々の意見を参考にしながら話し合う。役割や責任を果たして日常生活や社会生活に生かそうとする人々の姿を多面的・多角的に考えさせる。 ・社会という集団でよりよく生活するにあたり、どのような思いや考え方が必要なのか、自分事として話し合わせる。 ・困難に直面しても、自分が置かれた立場の中で、役割と責任を果たすことについて振り返る。
終 末	5 資料を見て考える。	・2つの資料を見て、多くの人がワクチン接種を行ったことや、新しい生活様式に適応しようとしたことなどから、自分なりに集団に貢献する気持ちを醸成する。

4 教材作成の意図と取扱いの留意点

新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界中に広がった。人々の生活様式は大きく変化し、人と人との接触の削減、飲食店等の休業要請等、人々の生きがいや目標までも奪う事態となった。そのような中で、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、社会全体の中で、自分の役割を認識し、その責任を果たす様々な立場の人々の考えを話し合うことを通して、生徒がこれから社会の中で生きていく中で、どのような思いを大切にしていきたいかを考えることができるように、本教材を作成した。

活用にあたっては、生徒の実態を十分に把握し、傷つく生徒がいないかどうか、配慮をもって臨みたい。また、本教材は「問題解決的な学習」を中心に据え、生徒が自分の生活と比べながら、多面的・多角的に考えることができるように工夫することが大切である。社会という集団の中で、一人一人が自分の役割を認識し、その責任を果たすことについて生徒の考えが深まるように、話し合いをファシリテートしたい。